

厚生労働大臣表彰!

平成25年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

10月31日に副島洋二さん（北多久町筋原）が国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を授与され、11月20日に伝達式が多久市役所で行われました。伝達式では、佐賀県健康福祉本部大川内直人副本部長から表彰状および記念品が手渡され、長年の功績が讃えられました。

副島さんは平成3年から現在までの21年の永きにわたり、多久市国民健康保険運営協議会の保険医（歯科医師）代表委員として、保険事業の重要性を深く認識され、被保険者の健康増進および事業の健全な運営のために尽力されました。

副島さんは「時代の流れの中で、お手伝いできたことが嬉しい。はじめのうちは、専門用語など意味が分からず苦労したが、予算を立て事業を行っていくうちに大切な役割だと感じ、責任感で取り組んできた。自分の時間もほしいけど、まだ頑張ります」と語られました。



▶伝達式後の大川内副本部長（左）と副島さん（右）

多久の芸術の秋到来を告げる文化の祭典

第9回多久市文化祭り



▶市民劇場「金色夜叉」での一幕

11月16日、17日の両日、多久市中央公民館で第9回多久市文化祭りが開催されました。

展示発表会では、美術協会による絵画・工芸・写真・書道の展示、華道会、多久高校「日本赤十字青少年クラブ」5人による生け花、俳句・川柳・短歌など文芸協会による作品、編物やパッチワークなどの服飾手芸文化の会作品の展示や、茶道会によるお茶のお点前も行われました。

18日の芸能発表では、日舞や民謡、市民劇場、多久ミュージカルカンパニーによる歌と踊りなどが披露され、尾崎紅葉作の「金色夜叉」を取り上げた市民劇場では、迫真の演技やコミカルな振る舞いに会場から拍手が送られ盛り上がりました。



▲来年の干支である「馬」にちなんだ作品展示もありました（服飾手芸文化の会作品）

市役所玄関に大輪の菊の花がお目見え

11/5

市役所玄関に北多久町の松瀬眞記さんが育てた菊の花約30鉢が飾られました。玄関の入り口から並ぶ白、黄、ピンクの色とりどりに咲き誇る大輪の花は見事で、大輪菊や野菊など訪れる人から、「きれいだ」と毎年好評です。



松瀬さんは「今年は干ばつ、突発的な豪雨と思うような出来ばえとはいきませんでした。1年中かけて、心を込めて大輪の菊の花を作り続けています」と語られました。

展示中の水遣り、花の交換もされ、来場者は綺麗な花を楽しんでいました。

剪定などで活躍！シルバーの日

10/31

10月の「シルバーの日」啓発月間の取り組みで、多久市シルバー人材センターの会員54人が、市内小中一貫校3校と筋原公民館裏鬼子母神の剪定、草刈・除草作業のボランティア活動を行いました。



早朝より4班に分かれて行われ、日ごろ培われた、丁寧で手際よい作業で庭木や校庭が美しくなりました。

会員らは、「少しでもみなさんのお役に立ててやりがいがあります。子どもたちの笑顔が見れてうれしいです」と話されました。